



**グラフレポート活用⑨**  
**～顧客の部署別訪問件数編～**

## アジェンダ

01 グラフレポート機能とは

02 実際の作成方法

03 その他作成時の注意点

## このレポートで解決できる課題

### <営業マネージャーの悩み>

顧客の複数の部署を網羅して訪問する必要がある場合、それぞれの部署に対しての活動ができているのか把握できない・・・



### <営業の声>

顧客の複数の部署が絡む案件の場合、どの部署に行けているのかが見えない・・・



顧客の部門別の情報を見える化することで、顧客の組織全体を意識した営業を可能になります

# 01 グラフレポート機能とは

---

# グラフレポートについて

---

# 作成フロー概要

## 1 データソース

顧客名	業種	案件名	進捗状況	受注					
sample株式会社	製造業	A導入案件	9.導入/開発中	20					
sample株式会社	製造業	esm/80L	8.受注	20					
sample株式会社	製造業	esm/ASPトライアル30L	トラブル対応	20					
sample株式会社	製造業	esm保守更新	3.課題明確化						
sample株式会社	製造業	Webマーケティングコンサルティング	4.提案中						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	A導入案件	4.提案中						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm RemixCloud/100L	トラブル対応					営業三郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/120L	6.最終調整中	2010-06-15	10,000,000円	営業太郎	えいぎょうた		
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/40L/関西支社	5.費用交渉中	2010-09-30	4,800,000円	営業太郎	えいぎょうた		
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし			営業三郎			
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし			営業太郎	えいぎょうた		

帳票・グラフの元となるデータの固まり(データソース)を作成します

- ・使用するシートを選択します
- ・シートの中から使用する項目を選択します
- ・帳票での集計項目、抽出条件など全てを含めたものを作成します

## 2 帳票

顧客別案件数および受注金額						
受注(予定)日: 今日から12カ月前~0カ月後						
該当件数 9件 50件 表示						
	2013-8		2013-9		2013-10	
	案件数	案件金額	案件数	案件金額	案件数	案件金額
BM商事株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
たから歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
ロングフーズ株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社アルファラン	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社大河組	0	0円	0	0円	0	0円
高田製菓株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
東都電力株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
日高歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
武田建設株式会社	0	0円	0	0円	0	0円

作成したデータソースを元に帳票を選択します

帳票には、「一覧表」と「クロス集計表」の二種類あります

※削除する場合は、作成手順と逆の手順で行います。  
それぞれ次のフローに進むと、変更・削除ができなくなります。

# データソース

---

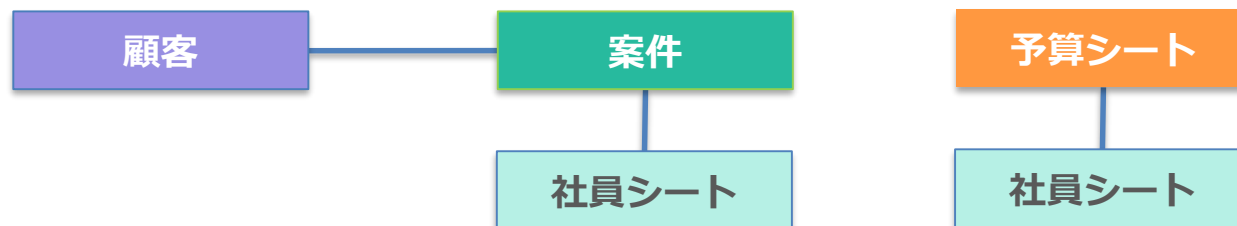
# シート・結合マップ・データソースの選択

データソースの作成元となる形式を選択します。  
作成元としては、下記の3パターンがあります。

- ① シート選択 ※シート単体からデータソースを作成します



- ② 結合マップ選択 ※複数シートを組み合わせてデータソースを作成します



- ③ データソース選択 ※複数データソースを組み合わせてデータソースを作成します

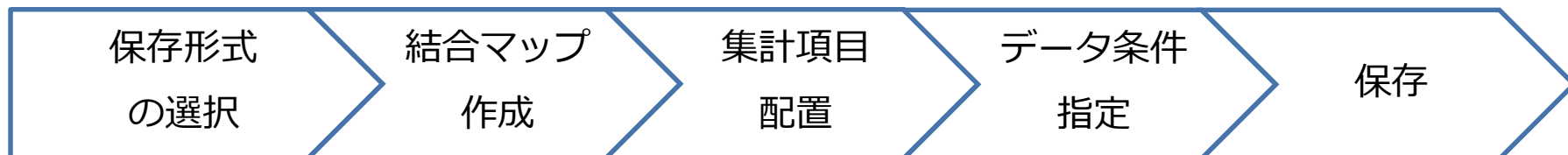




## 02 実際の作成方法

---

# データソース作成



# データソース作成①

帳票やグラフを作成する前に、まずはデータソースを作成する必要があります。

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

システムメニュー

顧客  
案件  
名刺  
活動  
社員  
商品  
カレンダー  
データ分析  
書類棚  
タイムライン  
実績シート

データ分析 グラフレポート データソース

データソース一覧

カテゴリ新規作成 データソース新規作成 削除

カテゴリ・データソース名	使用シート	同期間隔	最終同期日時	最終更新日	最終更新者	順序
No.1				2020-02-10 13:55	管理者	
No.2				2020-02-10 13:55	管理者	
No.3				2020-02-10 13:55	管理者	
No.6				2020-02-10 13:55	管理者	
No.				2020-02-10 13:56	管理者	
No.8				2020-02-10 13:56	管理者	

1 データソースをクリックします

2 データソースをクリックします

3 データソース新規作成をクリックします  
\* カテゴリが作成されていない場合はデータソース新規作成が出てきません  
先にカテゴリ新規作成を行ってください  
カテゴリとは、フォルダのようなイメージです

## データソース作成② データソースの選択

データソースを作成するためにどこからデータを取得するか選択します。

### データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

1 ▲ データソースで集計対象とするシート、結合マップ、およびデータソースを選択します。

**結合マップ新規作成**

結合マップ新規作成をクリックします

選択	名称	結合マップ	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	シート選択				
<input type="checkbox"/>	結合マップ選択				
<input type="checkbox"/>	データソース選択				

次へ

データソースを作成するためにどこからデータを取得するかを選択します

- ・ **シート選択**  
一つのシートから帳票・グラフを作成したい場合に選択します
- ・ **結合マップ選択**  
複数のシートの情報を組み合わせて帳票・グラフを作成したい場合に選択します

★今回はシート選択ではなく結合マップ選択を使用してデータソースを作成します

# データソース作成③ 結合マップの作成 1

複数のシートを結合して一つの結合マップを作成します。

**結合マップ新規作成**

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名  (日本語)  
他言語を表示

説明文

1 必要なシートをクリックして、左側の枠内にカーソルを移動します

2 水色の四角形が表示されたら、クリックして配置します  
\*ドラッグアンドドロップでは配置できません

3 今回は、顧客、案件、活動、名刺、社員、部署を選択します  
\*シート間の配置は距離を開けて配置してください  
距離を詰めて配置すると、P14の結合が難しくなります

顧客	案件	案件商品情報項目
活動	活動内容	活動商品情報項目
商品	名刺	社員

顧客1 案件1 活動1 社員1 部署1  
名刺1

# データソース作成③ 結合マップの作成2

シート間を結合し、シート間の結合設定します。

**1** 結合をクリックします

**2** 結合させたいシート上にカーソルを移動させ、結合方向に□を出してクリックします

**3** もう一方のシートにカーソルを移動させ、結合方向に□を出してクリックします

**5** シート間の結合が全てつながるまで①～④を繰り返します

シート間結合設定

選択したシート間で結合する項目を選択して下さい。

シート	顧客 - 案件
外部結合	<input type="checkbox"/> 「顧客」を外部結合する <input type="checkbox"/> 「案件」を外部結合する
結合する項目	<input checked="" type="radio"/> 顧客「顧客コード」と案件「顧客コード」 <input type="radio"/> 案件の基名 <input type="radio"/> その他の項目で結合する

**4** 設定完了

シートをどの項目で結合するか設定します  
基本的にデフォルトのままですべて設定完了で集計出来ます  
デフォルト項目以外で、結合したい場合は、別紙を参照してください  
【別紙参照】④シート間結合可能項目一覧

## データソース作成④ 結合マップの作成 3

シートの結合が完了しましたら「結合マップ名」を記入し、登録します。

### 結合マップ新規作成

⚠ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

1

結合マップ名  (日本語)

他言語を表示

説明文

結合マップ名を記入します

結合

顧客1 案件1 活動1 社員1 部署1

名刺1

2

「登録」をクリックします

登録

顧客	案件	案件商品情報項目
活動	活動内容	活動商品情報項目
商品	名刺	社員

## データソース作成⑤ 結合マップの選択

新規作成した結合マップは、一番下に作成されますので、チェックをつけ選択します。

シート・結合マップ・データソースの選択

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	活動状況分析		顧客, 案件, 活動, 活動内容, 社員, 部署	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	担当顧客		顧客, 社員, 部署	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	活動集計用 (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	活動集計用 (見達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件		顧客, 実績シート	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件		顧客, 案件	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	部署別活動		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 名刺	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
+ データソース選択					

3 作成した結合マップは、「結合マップ選択」の一番下に表示されますので、チェックを入れ選択します

4 「次へ」をクリックします

次へ



## データソース作成⑥ 集計項目の配置

帳票やグラフで必要となる項目を選択します。

◎ドリルダウンした際に見たい項目、抽出条件として設定したい項目全てを選択します。

データソースの並び順は、一番左側に配置した項目の昇順で表示されます。

集計項目の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。  
▲ シートや結合マップを複数選択している場合は、シート、結合マップごとに配置する項目の個数と、各列の項目のデータ型を同一にしてください。また、各列の項目の項目名と、シート、結合マップごとの区分として出力する値を設定してください。

顧客名 業種 案件名 訪問日

顧客名 業種 案件名 訪問日

結合マップ「部署別活動」

顧客

顧客コード

顧客名

顧客名(かな/その他呼称)

郵便番号

戻る 次へ

シートの隣の▼をクリックすると、各シートの項目を選択できます

帳票・グラフ・出力の絞り込みに使用したい項目をクリックします  
項目の並び順はドラッグアンドドロップで変更できます

「次へ」をクリックします

※1表示項目名の変更はこちらのアイコン  より可能です。

# 【参考】この例で必要な項目と項目名変更

この例では以下の項目を配置し、名称の変更が必要な項目があります。

顧客名	業種	案件名	訪問日	報告者	進捗状況	活動時間	詳細内容	部署名	役職名	名刺氏名
-----	----	-----	-----	-----	------	------	------	-----	-----	------

活動コード	部署コード	社員コード
-------	-------	-------

顧客

- 顧客名
- 業種

案件

- 案件名

活動

- 活動コード
- 報告者
- 訪問日
- 進捗状況
- 活動時間
- 詳細内容

名刺

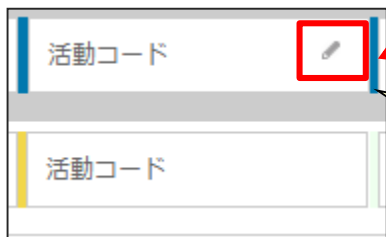
- 名刺氏名
- 部署名
- 役職名

社員シート

- 社員コード

部署

- 部署コード



このアイコンをクリックすることで項目名の変更が可能です(P17※1参照)

今回の例では、  
「活動コード」→「活動件数」  
「部署名」→「名刺部署」  
というように表示項目を変更します

※社員コードや部署コードは、検索条件に指定する際に、組織ツリーから選択方式にしたい場合に利用します(参照P26)

# データソース作成⑦ データ条件指定 1

データソース上で絞り込むための条件を設定する。

結合マップで結合したシート上の項目より、選択が可能です。

集計件数が少ない方がシステム負荷が減るので、なるべく条件を絞るようにしてください。

集計条件の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 → 集計項目の設定 → 集計条件の設定 → データソースの保存

1 一覧表示項目を変更

データソース集計条件 「一覧表示項目を変更」をクリックします

このデータソースにおいて集計するデータを絞り込むための条件を設定

集計条件は1項目も設定されていません。

戻る

表示項目 一括で削除

項目一覧

- 顧客(部署別活動) 一括で追加
- 案件(部署別活動) 一括で追加
- 活動(部署別活動) 一括で追加
- 社員(部署別活動) 一括で追加
- 部署(部署別活動) 一括で追加
- 名刺(部署別活動) 一括で追加
- 活動当日面談者(部署別活動) 一括で追加

結合マップに使用しているシートが項目一覧に表示されます

設定完了

# データソース作成⑦ データ条件指定2

今回の例では、訪問日を絞ってデータを抽出を行っていきましょう。

データソース集計条件設定 項目設定

表示項目 一括で削除

項目一覧

今回は活動の「訪問日」を集計条件設定に使用します  
項目一覧でクリックすると、自動でグレイアウトされ左側の表示項目へ追加されます

2

3 「設定完了」をクリックします

4 今回の例では「今日から2ヶ月前-0ヶ月後」と入力します

5 条件を設定したら「次へ」をクリックします

集計条件の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 集計項目の設定 集計条件の設定

このデータソースにおいて集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい

訪問日(部署別活動)

● 期間指定(年月日) ● 今日から〇日前-〇日後 ● 今日から〇日前 ● 今日から〇日後  
● 今日から〇ヶ月前(月初)-〇ヶ月後(月末) ● 今日から〇年前(期初)-〇年後(期末) ● 日付が入力されていない

今日から 2ヶ月前 - 0ヶ月後

次へ

# データソース作成⑧ 保存

データソースを保存します。

※同期間隔を15分～1440分の間で設定可能になりました。

**1** どのカテゴリに保存するか選択し、データソース名を記入します

**2** 毎日1回の更新、またはある一定の時間での更新を選択できます

**3** 「新規データソースとして保存」をクリックします

**4** 「OK」をクリックします

**5** 「キャンセル」をクリックします ※集計結果を見たい場合は「OK」をクリックします その場合、結果が表示されるまで時間がかかります

データ分析  
データソースの保存

シート・結合マップ・データソースの選択 集計項目の設定 集計条件の設定 データソースの保存

▲ データソース名と説明文を入力し、データソースを参照・参照編集できるユーザを設定してください。

カテゴリ デフォルト

データソース名 部署別活動集計 (日本語)  
他言語を表示

説明文

同期間隔  
 毎日(GMT+09:00)日本標準時(Asia/Tokyo)の 00 : 00 に同期処理を開始する  
 15 分おきに実行する  
 定時同期しない

参照権限  
 全員  社員を指定する  
役職で絞り込む 全て選択 全て解除 選択反転  
 マネージャー  担当  インサイド

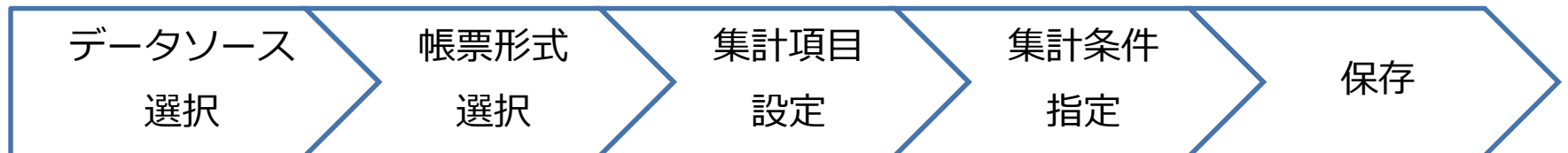
戻る 新規データソースとして保存

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
データソースを設定した内容で保存します。よろしいですか?

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
データソースの集計結果を表示しますか?  
(「キャンセル」をクリックすると、データソースの一覧を表示します)

# 帳票の作成

---



# 帳票の作成① 帳票形式選択

作成したデータソースを使用して帳票を作成します。データソースの選択と、帳票の形式の選択します。

**1** グラフレポートをクリックします

**2** 帳票新規作成をクリックします  
\* カテゴリが作成されていない場合は帳票新規作成が出てきません  
先にカテゴリ新規作成を行ってください  
\* カテゴリとは画面上のフォルダアイコンを示します

**3** 作成したデータソースを選択します

**4** 帳票の形式を選択します  
・一覧表  
各シートの検索結果画面のように、項目を横に並べて表示させる形式です  
・クロス集計表  
Excelのピボット集計のように、項目を集計し表として集計を行う形式です  
\* グラフを作成できるのはクロス集計表のみです

**5** 次へ

## 帳票の作成② 集計項目設定

帳票を作成するための項目を、左側データソースの項目よりドラッグアンドドロップで配置します。

集計項目の設定

帳票の形式の選択 集計項目の設定 システム集計条件の設定 ユーザー集計条件の設定 帳票の保存 帳票の確認

▲ 集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。

2

部署別活動

顧客名 1

項目をドラッグアンドドロップで配置します

案件名

訪問日

部署別活動

演算項目

配置する際は左下と右上の薄い灰色部分と右下の白い部分に項目を配置します

\*今回は顧客の部署別訪問件数を次ページより案内します

戻る 次へ



# 帳票の作成③ 集計項目設定

それぞれ項目を配置した際に、項目設定画面出てきますので、指定したい表示単位を選択します。

右上の項目には「訪問日」を配置します  
\* 右上の項目には表示できる範囲に制限がかかっています  
日ごとに見る場合だと後の集計条件の設定にて絞り込む条件を短くする必要があります

1 顧客名

2 名刺部署

3 訪問日

4 活動件数

5 次へ

戻る

項目設定

項目名	顧客名
データ型	文字
小計・合計	<input type="checkbox"/> 小計を出力する <input type="checkbox"/> 合計を出力する
表示順	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順

項目設定

項目名	名刺部署
データ型	文字
小計・合計	<input type="checkbox"/> 小計を出力する <input type="checkbox"/> 合計を出力する
表示順	<input checked="" type="radio"/> 昇順 <input type="radio"/> 降順

項目設定

項目名	活動件数
データ型	文字
集計方法	<input checked="" type="radio"/> 件数 <input type="radio"/> 件数 累計・昇順 <input type="radio"/> 件数 累計・降順 <input type="radio"/> 軒数 <input type="radio"/> 軒数 累計・昇順 <input type="radio"/> 軒数 累計・降順
小計・合計の計算方法	縦軸: <input checked="" type="radio"/> 合計 <input type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 最大 <input type="radio"/> 最小 横軸: <input checked="" type="radio"/> 合計 <input type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 最大 <input type="radio"/> 最小 重なった箇所の優先順位: <input checked="" type="radio"/> 縦軸 <input type="radio"/> 横軸

集計方法設定

▲ 集計方法を設定してください。

今回は「件数」にチェックをつけ、「設定完了」をクリックします

日付項目を配置すると表示単位の選択画面が表示されます  
今回は「月」を選択し「設定完了」をクリックします

表示単位

- 年度
- 半期帯
- 半期
- 四半期帯
- 四半期
- 月帯
- 月
- 日帯
- 日

## 帳票の作成④ 集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件にて、抽出条件の設定を行います。

◎データソースで設定した項目(P16)より選択が可能です。

システム集計条件の設定 一覧表示項目を変更

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > **システム集計条件の設定** > ユーザー集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

▲ 作成する帳票の形式と、作成元となるデータソースを選択します。

▲ 集計条件は1項目も設定されていません。

1

今回はシステム集計条件は設定せず、「次へ」をクリックします

戻る **次へ**

「一覧表示項目の変更」から集計条件の追加が可能です

ユーザー集計条件の設定 一覧表示項目を変更

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > **ユーザー集計条件の設定** > 帳票の保存 > 帳票の確認

▲ この帳票において集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。  
システム集計条件において選択した選択肢のみを、ユーザ集計条件で指定できます。

2

訪問日

● 期間指定 (年月日) ● 今日から○日前-○日後 ● 今日から○日前 ● 今日から○日後  
● 今日から○ヶ月前 (月初) -○ヶ月後 (月末) ● 今日から○年前 (期初) -○年後 (期末)

今日から 2 ヶ月前 - 0 ヶ月後

案件名

▼ 検索オプション

3

社員コード

ログインユーザ << 選択 >> ソフトブレイク活用支援サイト ▼  
削除 >> ソフトブレイク活用支援サイト

子部署も含む

検索オプション

※青文字：部署  
※黒文字：社員  
※その他の色付き文字：社員グループ

4

戻る **次へ**

集計項目の選択にて、日付項目を右上に配置した場合、制限がかかるため期間条件を必ず設定する必要があります

社員コードを条件に指定すると、社員を選択式で選べるようになります  
※追加した項目は社員等設定せずに条件として保存することができます

条件項目設定後、「次へ」をクリックします

## 帳票の作成④ 【補足】集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件の違いは以下の通りです。

### ■ システム集計条件

- ◆ 管理者、作成者、編集権限保持者のみが設定できる条件です。
- ◆ 閲覧権限のみのユーザ側で条件を変更することはできません。
- ◆ 帳票閲覧時に、条件変更は誰でも不可。

### ■ ユーザー集計条件

- ◆ ユーザ側で帳票を確認する際に自由に変更できる条件です。
- ◆ 帳票閲覧時に「検索条件変更」より条件変更が可能です。
- ◆ 閲覧権限のあるユーザはどなたでも変更できる条件です。

# 帳票の作成⑤ 保存

条件を設定したら、「帳票名」を記入し保存します。  
保存前にプレビュー画面で確認が可能です。

**帳票の保存**

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

▲ 帳票名と説明文を入力し、ユーザが集計結果の絞り込みに使用できる検索項目を設定してください。  
※必須項目です

1

データソースの同期処理が行われていないと「該当データはありません」と出てくる場合があります

帳票名や参照・編集権限の付与設定を行います

カテゴリ: デフォルト

帳票名 \*: 顧客の部署別訪問件数 (日本語)

他言語を表示

説明文

参照権限: ● 全員 ○ 社員を指定する  
役職で絞り込む 全て選択 全て解除 選択反転  
 マネージャー  担当  インサイド

参照編集権限: ● 全ユーザー ○ 社員を指定する  
役職で絞り込む 全て選択 全て解除 選択反転  
 マネージャー  担当  インサイド

2 「次へ」をクリックすると帳票が確認出来ます

戻る 次へ

顧客の部署別訪問件数

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

訪問日: 今日から 2カ月前~0カ月後

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
帳票を設定した内容で公開します。よろしいですか?

3

4

数値のドリルダウンは、保存後可能です

OK キャンセル

該当件数 2件 50件 表示

株式会社豊ビルシステム 営業部

新規登録

3 「新規登録」をクリックして、「OK」を選択すると帳票の作成および保存完了です

## 帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認 1

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。  
該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ ユーザ条件が設定されている場合は、ユーザ側で条件変更が可能です。

データ分析		グラフレポート	データソース					
グラフレポート一覧								
	カテゴリ・帳票・グラフ名	形式		説明	変更	最終同期日時	作成元	順序
<input type="checkbox"/>	予算見込み集計グラフ (累計) 同期	グラフ	棒グラフ		変更	2020-03-15 12:00	予算実績管理 (累計グラフ用)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	予算見込み集計グラフ (単月) 同期	グラフ	棒グラフ		変更	2020-03-15 12:00	予算実績管理 (単月グラフ用)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客ランク別活動件数 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-15 12:00	活動集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	KPI指標 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-15 12:00	活動集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	パイプライングラフ用 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-15 12:05	パイプライン用	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	パイプライングラフ (金額) 同期	グラフ	棒グラフ		変更	2020-03-15 12:05	パイプライングラフ用	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	社員別活動内容 同期	帳票	円グラフ		変更	2020-03-15 12:00	社員別活動内容集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客の部署別訪問件数 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-16 08:24	部署別活動集計	<input type="checkbox"/>

1

作成された帳票の名前をクリックします

## 帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認 2

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。  
該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ ユーザ条件が設定されている場合は、ユーザ側で条件変更が可能です。

データ分析

顧客の部署別訪問件数 (最終同期日時:2020-03-16 08:24) CSV出力 同期

訪問日: 今日から 2カ月前~0カ月後 検索条件変更

該当件数 2件 50件 ▼ 表示

「訪問件数」をクリックします

	2020年1月	2020年2月	2020年3月
株式会社電ビルシステム 営業部	1	0	0
明治電算工業株式会社 パートナーソリューション部	0	0	1

データ分析

顧客の部署別訪問件数 CSV出力

該当件数 1件 50件 ▼ 表示

顧客名	業種	案件名	訪問日	報告者	進捗状況	活動時間
株式会社電ビルシステム	選択なし	〇〇〇新規導入	2020-01-22	営業花子	提案済	60 eセールスマネージャーRemi の動作説明を行った。 2日後にA社からの提案をも...

**POINT** 集計数値をクリックすると、集計内容明細が閲覧可能です。  
そこから「顧客情報」「案件情報」などにリンクで飛べるため、マネジメントが一画面で完結します。

集計内容詳細が表示されます  
項目内容、並び順の設定はP17,P18です

## 03 その他作成時の注意点

---

## システムに負荷をかけないために

- レポート機能は便利な機能ですが、誤って設定するとシステムに多大な負荷をかける恐れのある機能になりますので、設定時に以下の点にご注意ください。
  - ◆ POINT1 誤って設定しないよう、作成権限は必要最低限の方にのみ付与する
  - ◆ POINT2 データ同士の外部結合はなるべく避ける
  - ◆ POINT3 集計に必要なデータだけ集計する(なるべく抽出条件を設定しデータ量を絞る)
  - ◆ POINT4 データソースの項目数をむやみに増やさない
  - ◆ POINT5 データソースの構造はシンプルにする(不必要にユニオンしない)
  - ◆ POINT6 クロス集計表にて、むやみに「小計」「合計」を表示しない
  - ◆ POINT7 クロス集計表にて、むやみに項目をたくさん配置しない
  - ◆ POINT8 データソースの同期間隔の時間設定を一律にしない  
(毎日1回なら時間をずらし、データが多い場合は15分おき実行は避ける)
- ◆ 詳細は、「【管理者マニュアル】グラフレポート編」をご確認ください



# クロス集計表の集計項目について

クロス集計表の集計項目について、配置可能な項目、制限事項のご案内をします。

- 【設置可能な項目】
- ・数値型   ・セレクト型
  - ・小数型   ・チェックボックス型
  - ・日付型   ・文字型(1個まで)
- ※横に項目を並べることはできません



- 【設置可能な項目】
- ・数値型   ・セレクト型
  - ・小数型   ・チェックボックス型
  - ・日付型   ・文字型
- ※縦に項目を並べることはできません

- 集計値に用いる項目は4つまで配置できます  
タテ並び、ヨコ並びどちらかの配置が可能です
- 【集計可能な項目】
- ・文字型項目   ・日付型   ・演算型
  - ・数値型項目   ・演算型
  - ・小数型項目   ※演算結果はドリルダウンできません

# 【参考】項目タイプごとの配置による条件一覧

項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定	項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定
数値型 小数型 演算型	<p>【表示範囲】 任意の範囲を一つの要素として出力することができます</p> <p>【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	<p>【集計方法】 合計 平均 最大 最小 累計・昇順 累計・降順 【小計・合計】 小計と合計を出力できます 【演算】 出力結果に対して四則演算ができます 【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	日付型 日時型	<p>【表示単位】 年 年度 半期帯 半期 四半期帯 四半期 月帯 月 日帯 日 時間帯（日時型のみ） 時間（日時型のみ） 年-半期-四半期-月(右上のみ) 年-半期-四半期(右上のみ) 年-半期-月(右上のみ) 年-半期(右上のみ)</p>	<p>【集計方法】 最大の日時 最小の日時</p> <p>【日付フォーマット】 ユーザの日付フォーマット 任意の日付フォーマット</p>
文字型 文章型	<p>※文章型は配置できません</p> <p>【表示順】 ソートなし 昇順 降順 組織構成順 (部署名・社員氏名のみ)</p>	<p>【集計方法】 件数 軒数 件数 累計・昇順 件数 累計・降順 軒数 累計・昇順 軒数 累計・降順 (※文字が入力されているもののみカウントされます)</p> <p>【小計・合計】 (※出力結果の行に対してのみ) 小計と合計を出力できます</p>	グラフレポート演算型	配置できません	<p>【演算式】 他の値項目の出力結果や定数値を使った演算式を入力します ※日付型、日時型項目は式に含まれません</p> <p>【小数点以下の桁数】 出力する小数点以下の桁数を設定できます</p>
セレクト型 チェックボックス型	<p>※【各選択肢への設定】 表示順序 表示/非表示 合計・小計の対象とするか否か</p> <p>※【選択肢演算の追加】 他の選択肢の出力結果や定数値を使った演算式、その表示形式を設定できます</p>	配置できません	◎制限事項 横方向への小計・合計と累計（昇順・降順）は同時に設定することはできません。 小計・合計の出力設定は値に配置した項目間で共有されます。 小計・合計を出力できる項目と出来ない項目を両方配置した場合、小計・合計は出力されなくなります。 グラフレポート演算型項目は、演算式に含めた他の値項目が削除された場合、同時に削除されます。		

## 【参考】項目のソートについて

◎以下の項目でソートする場合は、名称ではなく内部コードの順でソートされるため注意してください。

シート名	項目名	項目タイプ
顧客	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	親顧客	文字（親顧客）
	親顧客 1～5	文字（親顧客）
案件	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
案件 商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
活動	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	報告者	文字（社員コード）
	承認者	文字（社員コード）

シート名	項目名	項目タイプ
活動商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
商品シート	カテゴリ 1～10	文字（商品コード）
社員シート	部署名	文字（部署コード）
部署	所属部署コード	文字（部署コード）
	社員コード	文字（社員コード）
スケジュール	登録者部署コード	文字（部署コード）

※内部コードとは、eセールスマネージャーで自動で採番される、一意のコードとなります。

## 【参考】 -日付項目配置時の表示単位と表示期間の説明-

表示単位	表示される期間の説明
年	西暦で表示します。 表示例：2015
年度	4月1日から翌年の3月31日までを4月1日時点の西暦で表示します。 表示例：2018
半期帯	西暦関係なく4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で表示します。 表示例：1、2
半期	4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で西暦ごとに表示します。 表示例：1、2
四半期帯	西暦関係なく4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
四半期	4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
月帯	西暦関係なく1月~12月を1カ月毎で表示します。 表示例：1~12
月	1月~12月の1カ月毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1、2018-2、2018-3、2018-4
日帯	西暦、月関係なく1日~31日を1日毎表示す。 表示例：1~31
日	1月1日~12月31日の1日毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1、2018-1-2
時間帯	西暦、月、日関係なく0時~23時を1時間ごとに表示します。 表示例：0~23
時	0時~23時の1時間毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1-0~2018-1-1-23
年-半期-四半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎、月毎で表示します。
年-半期-四半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎で表示します。
年-半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、月毎で表示します。
年-半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎で表示します。

# 【参考】 -日付項目「期首月」「年度の設定」 - ※管理者ログインでのみ設定可能です。

グラフレポートで表示される「期首月」「年度」を変更したい場合、カレンダー設定の変更にて設定変更が可能です。※デフォルトの期首月は4月になっています。

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

検索

ホーム

シートの一覧と拡張

1 自社の設定

部署・社員のメンテナンス

社員項目の変更

2 カレンダー設定の変更

自社商品のメンテナンス

商品項目の変更

コラボレーションの設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

その他機能の設定

システムの設定

カレンダー設定の変更

カレンダー設定

月間行動予定

### 期首月設定

3

4 ータ分析機能で使用する期首月を設定します。

期首月 1 月

年度の開始  暦年と同じ  暦年の前年  
例：2020年度は2020年1月に開始

設定完了

### 休日設定

休日パターン 標準設定 iCalから追加

2020-03

月	火	水	木	金	土
休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	勤務日設定
勤務日 2	勤務日 3	勤務日 4	勤務日 5	勤務日 6	通常休日 7
勤務日 9	勤務日 10	勤務日 11	勤務日 12	勤務日 13	通常休日 14

## 【参考】 帳票の作成-集計値の表示単位-

表示単位	説明
件数	重複したレコードがあっても、まとめずに1件ずつカウントします。
件数 累計・昇順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
件数 累計・降順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録シート数を減算していくことで集計します。
軒数	重複したレコードがあれば、まとめて1件としてカウントします。
軒数 累計・昇順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
軒数 累計・降順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録情報数を減算していくことで集計します。

### 集計表示のイメージ

件数	件数 累計・昇順	件数 累計・降順	軒数	軒数 累計・昇順	軒数 累計・降順
訪問日 社員	クレーム 社員	プロセス 社員	訪問日 社員	クレーム 社員	プロセス 社員
単純に件数を 集計したい場合 (例)活動コード	積み重なった数字が 必要とされる集計を 行いたい場合 (例)活動コード	進捗率のパイプ ライン管理など (例)活動コード	活動案件数として 集計を行いたい場合 (例)案件コード	積み重なった数字が 必要とされる集計を 行いたい場合 (例)活動コード	進捗率のパイプ ライン管理など (例)活動コード

# 特殊検索項目について

「社員」や「部署」を組織ツリーからの選択式にしたい場合は、それぞれ「社員コード」「部署コード」をデータソース作成時(P17参照)に選択し、帳票集計条件設定の際に(P26参照)、項目を配置いただく必要がございます。

<p>選択ボックス② (社員)</p>		<p>社員コード配置時の 検索項目配置図</p>
<p>選択ボックス③ (部署)</p>		<p>部署コード配置時の 検索項目配置図</p>

